



あじさいネット OFFLINE 通信



眼鏡橋の夏（長崎市）

目次

会員様の声

- ふくだこどもクリニック 福田友子 先生 2
- 立石産婦人科医院 立石由紀子 先生 3
- 小松ふれあい薬局 小松正博 先生 4
- 大村市医師会 訪問看護ステーション 尾崎千恵 様 5

情報提供病院のご紹介

- 上戸町病院 地域連携室 6

特集：第6回あじさいネット研究会

- 研究会開催レポート 7
- アンケート集計結果発表 8

現在の運用状況

- 患者登録数：45,833 名
(あじさいネット説明同意書 取得済)
- 会員数：437 名
- 情報閲覧施設数：247 名
(内、薬局数：44)
- 情報提供病院数：27 施設
(平成 27 年 6 月 15 日現在)

賛助会員

- (株) ホギメディカル福岡営業所
- 日本電気(株) 医療ソリューション事業部
- (株) L S I メディエンス
- 富士通(株) 長崎支店
- (株) N T T データ 公共システム事業本部
- オフィスメーション(株)

基本理念

地域に発生する診療情報を患者さまの同意のもと、複数の医療機関で共有することによって各施設における検査、診断、治療内容、説明内容を正確に理解し、診療に反映させることで安全で高品質な医療を提供し、地域医療の質の向上を目指すものです。





紹介後もあじさいネットで継続して診続ける



PROFILE

昭和48年 長崎大学医学部卒
平成22年 あじさいネット入会
◆ふくだこどもクリニック 院長

●●入院中の紹介患者さんをあじさいネットで継続して診る●●
基幹病院に紹介した患者さんの検査結果や経過をとにかく早く知りたいという思いからあじさいネットに入会しました。通常、紹介状の返事が戻って来るのは約一週間後です。ところが、あじさいネットでは、同意書を書いていただいて患者さんが紹介先を受診されると、すぐに診療情報を得ることができます。時間を気にせず、自分の都合の良い時に見て、患者さんの状況や検査結果がどうだったのかが分かるので安心します。

あじさいネットに入会するまでは、紹介後、入院中の経過は患者さんを診に行くか、主治医にお聞きするしかなかったのですが、あじさいネット上のカルテを閲覧することで経過を把握でき、この患者さんを私もずっと診ている、医療を担っているという意識を継続して感じることがになりました。

長崎市江戸町

ふくだ ともこ
ふくだこどもクリニック 福田 友子 先生

TEL. 095-821-8867

E-mail: ahirukko@ngs2.cncm.ne.jp

一緒に診ていくことは、患者さんも心強く思われているようで大きなメリットです。あじさいネットでカルテを見て詳細を確認すると、ありがとうございますと感謝のお言葉をいただくこともあります。

●●紹介先のカルテから

学べる、確認できる●●

当院ではレントゲン撮影を行っていないため、近くの放射線科の先生に依頼します。すぐ入院になりそうな患者さんであれば、紹介先で撮られたものを後であじさいネットで見ることができ、私自身も確認できます。採血や検尿にも小児科の場合は時間がかかります。採血を省略させていただくことにより紹介の決断が早くなり、重複の検査が少なくなります。

また、どの程度の症状で入院になったのか、ならなかったかの確認や、処置内容も分かかりますし、時と共に医療も変わっていく、聞き慣れない言葉や新しい検査の項目を目にする機会が得られて勉強させていただいております。それに、処方された薬について覚えていらっしゃらない患者さんが多いので、正確にどの薬なのか確認するのも役立ちます。

●●あじさいネット上で基幹病院の先生と

意見交換できるシステムに●●

基幹病院に紹介して開放型病床を利用した場合、入院中の患者さんを共同で診療していきますが、平日の診療が終わるのは遅い時間になってしまい、なかなか患者さんの元へ出向くことができません。そういった時に、あじさいネット上で基幹病院の主治医に気にな



自宅のダイニングキッチンには水槽がズラリ!メダカ、赤ひれ、グッピー、エビ等、ちっちゃくて可愛い生物が集合。日曜日の午前中は2時間かけてお世話をしているとのこと。クリニックの待合室に熱帯魚が泳ぐ大きな水槽を飾るのが夢だそうです。

る点をお尋ねしたり、活発に意見交換ができるようなシステムにならないかと期待しています。

●●病気の子供だけでなく
子育て中の働く両親もサポート●●

当院は小児科の診療を専門に行っていますが、子育てと就労の両立支援の一環として、入院を必要としない病気のお子様をお預かりする病児保育「あひるっこルーム」を併設しています。浜の町周辺には子育てをしながら働いている方がたくさんいらっしゃいますので、サポートするためにこの場所で開業しました。

利用する方に合わせ、毎日朝早くから対応しておりますが、「自然体で、ありのままに」、そして「賢明に」をモットーとしながら、体力の続く限り取り組んでいきたいと思っています。

●●私のリラックスメソッド●●

休日は、運動は苦手なので受け身の全身マッサージで一週間の疲れをとり、花や魚の世話をしているのが好きです。最近では知り合いからいただいた川魚を中心に、グッピーなども加え、しばし時を忘れ水槽の魚達に魅入っています。



急変した妊婦さんの容態も、あじさいネットですっかり把握



PROFILE

昭和 53 年 東京女子医科大学医学部卒
平成 19 年 あじさいネット入会
◆立石産婦人科医院 院長

●●産科オープンシステムで
あじさいネットを活用●●

当院では人手不足のこともあって四年ほど分娩の取り扱いを中止しており、その時に産科オープンシステムを始めることにしました。産科オープンシステムでは、基幹病院とのしつかりした連携が必要になります。それには、あじさいネットが役立つのではないかと勧められたのが入会するきっかけでした。

妊婦検診は当院で受け持ち、分娩は基幹病院にお願いし、時間があれば帝王切開は私が基幹病院に出掛けて行っていました。切迫早産で緊急搬送されたり、重篤化して入院となる場合があったりと、妊婦さんの状態は急変することが少なくありません。具体的な経過はあじさいネットで確認し把握します。基幹病院と開業医が役割分担をし、密に連携を取りながら効率的に進めていく上で、あじさいネットは大変役に立ちます。
現在では当院で分娩を行っていますの

諫早市栄町 立石産婦人科医院 院長 立石 由紀子 先生

TEL. 0957-22-0292 E-mail: tateishi@kiu.biglobe.ne.jp

で、重症の方や合併症がある場合に産科オープンシステムを利用しています。更に重症の場合であれば転院となりますが、基幹病院で診ていただいている間の妊婦さんの情報はできる限りすぐ欲しいものです。お忙しい基幹病院の先生に電話で問い合わせることなく、あじさいネットであれば夜中でもカルテを診て情報を得ることができるので便利です。
基幹病院での診療内容を見ることで学ぶことも多く、この方法で良かったのだとホッとすることもあります。無事に出産されたことや、容態があまり良くないようだということが紹介状の返事が来るより早く分かるのもメリットの一つです。

●●あじさいネットは
地域医療連携に欠かせない●●

連携しながら地域医療に取り組んでいくには、あじさいネットはなくてはならないものだと思えます。医師不足でお互いに忙しい中、こういったネットワークを活用しなければ繋がるのは難しいのではないのでしょうか。

情報提供病院が増え、閲覧更新期間も延びたため、情報を得るのに役立っており、よく利用しています。今後期待することとしては、基幹病院の先生とあじさいネット内で連絡を取り合えるようになればと思っています。

●●大切な産後の時期を
サポートする●●

出産は女性にとって、心身ともに大きな転換点でその後のケアが大切ですが、最近では、実家に帰らずに一人で家事も育児もなさっている



Wall art in the hospital

院内を案内していただくと、あちらこちらに貼られたカラフルなステッカーが目を楽しませてくれました。季節に合わせて人形や絵を飾ったり、ちょっとしたところにマスキングテープを貼ったりと、いつも先生が夜な夜な作業をされているそうです。

方が増えているようです。産後の過ごし方や環境が昔とは変わったのを感じ、出産だけではなく産後こそサポートが必要だと考え、力を入れることにしました。

育児放棄や相談できずに困っている方がいないかを見つけるきっかけにもなるかと思ひ、産後も積極的に声を掛け、友達作りの場を提供しています。子供と一緒に参加するイベントを開催したり、ベビーマッサージ、体操、ヨガなど、スタッフの手を借りてアイデアを実現しているところなんです。ほんわかとした、いい雰囲気の中で行われています。私はその様子を撮影したアルバム作りに精を出しています。

●●明日へ繋がる今を
一生懸命生きる●●

身の回りには、目にするたびに気分を上げてくれるお気に入りの小物や文具、おもしろグッズを揃えています。ショップを巡ってそういったものを探するのが趣味です。

モットーは今を一生懸命生きること、この時間を充実させることです。今の連続が明日へ繋がっていきます。



あじさいネットで得た情報を患者さんの安心感へ変える



PROFILE

昭和 60 年 福岡大学薬学部卒
平成 25 年 あじさいネット入会
◆小松ふれあい薬局 管理薬剤師

●● 情報を活かして患者さんに合ったより良い対応を ●●

県央保健所と県の事業である、結核患者さんに対するDOTS（直接服薬確認療法）に参加しており、服薬の状態を細かくチェックして服薬指導しています。結核治療は薬を継続して飲むことが重要で、肝機能、腎機能、血液検査の話まで踏み込むこともあります。その際、患者さんからの話だけではなく、あじさいネットで医師の判断や詳細な状態を確認しております。実際の検査データをふまえて話ができるのでありがたいと思っています。

また、癌を患っている方に、病院で検査をして説明を受けたけれど、よく分からなかったと相談されたことがあります。あじさいネットで得られる情報の中には患者さんにとって辛い内容も当然ありますので、お伝えする内容には気を配らなければなりません。患者さんには安心していただくことが何より大切だと

東彼杵郡川棚町
小松ふれあい薬局

こまつ まさひろ
小松 正博 先生

TEL. 0956-82-6781 E-mail: k-fureai@sea.plala.or.jp

●● より多くの情報を 広く共有する ●●

思っています。多数の中から抽出した情報が有益なものとなるよう心掛けています。あじさいネットを使って詳しい状態を知ることができ、より患者さんに合わせた服薬指導ができます。検査値や医師の見解、入院中の状態など、得られる情報は多いです。電話で問い合わせるのは違って聞きそびれることもなく、自分が知りたい時に確認することができ、時間をかけて過程もしっかり把握できます。あじさいネットの利便性は大変高いです。一人ひとりにきめ細かい説明をし、安心していただくために幅広く活用していきたいと思っています。

あじさいネットには、今後、基幹病院だけではなく、通院される機会の多い診療所の情報も得られるようになることを望んでいます。そして、薬剤師からも、ある情報を得て、具体的にどういったことに役立てたかの事例やコメント、調剤情報などを掲載することができればと思っています。

在宅医療チームと同様、服薬効果を発揮するには情報共有が大事です。処方箋に基づいて薬を調剤するだけではなく、薬剤師として気付いたことを有効活用させていただきたいと思っています。

●● 私のふれあい魂 ●●

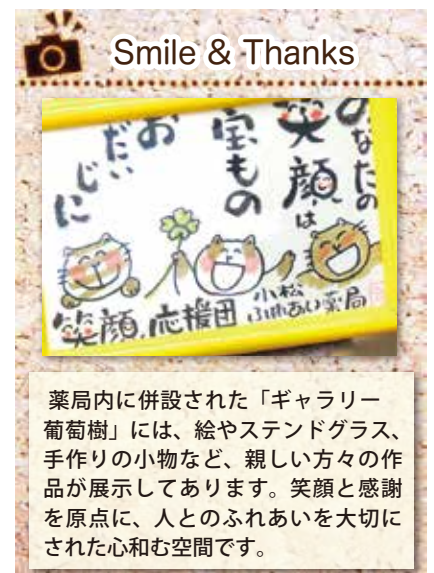
薬局で話を聞いてもらったり、気になっていることを調べてもらうことでスッキリすると患者様が言われます。そうやって不

安を抱えた方の心をマッサージするのも我々薬剤師の仕事だと考えています。当薬局を「町の保健室」として身近に感じていただきたいです。

来局して下さっている皆様のご縁がきっかけで、大切に思いつながりながらお付き合いをさせていただいています。ご縁があつて出会ったのです。親身になって相談に乗り、私にできることがあればとことんして差し上げたいという気持ちです。それが私の「ふれあい魂」です。

●● ハーモニーを奏でる ●●

川棚町の男声合唱団「オールドダックス」に入団して二十年、各地でコンサートを開催し、歌声をお届けしています。童謡、歌謡曲とジャンルを問わず、笑いあり、感動ありのステージです。皆が気持ちを合わせ、声が一つのハーモニーとなった時には会場がどよめきます。四十人の声の空気の振動をお客さんが感じる、共鳴です。合唱のライブならではの楽しみです。





「患者メモ機能」での情報共有が在宅医療の連携を深める



PROFILE

昭和 58 年 長崎医療センター付属
看護学校卒
平成 24 年 あじさいネット入会
◆大村市医師会訪問看護ステーション 看護師

●●患者メモ機能で情報を共有し
利用者さんについて皆で知る●●

あじさいネットに入会するまでは、電話、ファックス、メールで先生方へ訪問看護の報告をしており、大きな病院の先生へ電話する場合は交換手に取り次いでいただかなければなりませんので、忙しい中、連絡し辛い面がありました。しかし、あじさいネットの患者メモ機能を使用するようになってからは、必要事項だけではなく、先生への要望や家庭内のできごと、利用者さん（患者さん）に関する込み入った情報も伝えやすくなりました。

また、電話やファックスでの報告では先生と担当者の一対一のやり取りになりますが、患者メモ機能に書くと、チーム登録したメンバー皆で情報を共有できますので、一人ひとりの利用者さんをより知ることができ、取り組んで行く意識も高まるように思います。それに、利用者さんとコミュニケーションを図る上で、多くの情報があると役立つと思います。

大村市協和町

大村市医師会訪問看護ステーション

おさき ちえ

尾崎 千恵様

TEL. 0957-52-8731

E-mail: oma-zai@octp-net.ne.jp

長崎医療センターの検査データは、今は見れないのですが、訪問診療をされている先生方は採血の結果をすぐに掲載してくださるので助かります。在宅主治医、訪問看護師の間で情報を共有していくには、患者メモ機能は大変有効で便利です。

●●iPadの活用で 在宅医療の現場が変わる●●

第6回あじさいネット研究会に参加した際、長崎市では在宅医療にあじさいネットを活用した取り組みが進んでいると感じました。iPadを在宅訪問時に使われている話は私達も取り入れていきたいと思ったことの一つです。

例えば、利用者さん宅に行き、傷が悪化した場合や、薬剤の効果が良く、傷が良くなった場合、自分のスマートフォンで写真を撮り、一旦事務所へ戻って主治医にメール添付して送り、電話で処置をどうするかの確認をしています。しかし、iPadがあればその場で撮影し、画像をすぐに送信できます。こういった便利な使い方ができるのかと興味を持ちました。使用方法の研修会や研究会を開催していただき、更にあじさいネット機能について知りたいと思っています。

大村市では官民が連携し、二十四時間体制で高齢者への地域での包括的な支援やサービスの提供を来年の四月から始めるよう動いています。利用者さんの登録を増やしていただき、在宅医療の現場でiPadを用いてあじさいネットが最大限に有効活用されることを期待しています。

Night Walking



健康維持のためのウォーキングは、数回挫折しそうになりながらも4年程続けているとのこと。夜、家事を終えた後に、自宅から2～2.5キロくらいを好きな歌手の曲を聴きながら往復しているそうです。

●●ありがとうの一言が嬉しい●●

挨拶は大切ですので、はっきり大きな声で、相手の目を見てするように子供達にいつも言っています。私自身も心掛けていることですが、「ありがとう」や「ごめんなさい」が素直にすぐ言えるようになってほしいと思っています。どんなことに対してもありがとうの一言があると嬉しいものです。

●●多くの人との出会いに恵まれて●●

週に一度、地域のママさんバレーに娘と一緒に練習に行っています。週末は息子のサッカーの試合の応援へ行くことが多いです。一生懸命プレーする子供達に声援を送りながらお母さん方とお喋りも楽しんでいきます。

地域の中や子供達関係、そして仕事を通じ、多くの方と出会う機会に恵まれています。最近では外国人のホームステイの女の子を受け入れ、意外と英語が通じると自負しました。自分とは世代の違う方と接することで、様々なお話をさせていただくのは、楽しくて学ぶことがたくさんあります。

情報提供病院のご紹介

上戸町病院 地域連携室（長崎市）



上戸町病院は、平成26年7月に診療情報提供をスタートしました。
いのちの平等を尊重し、いつでも、だれもが安心してかかれる病院を目指します。



PROFILE

平成7年 長崎大学医学部卒
平成22年 上戸町病院 院長就任

Message / みしま かずゆき 三島一幸 院長

●● 地域医療連携には顔の見える
関係と信頼を得ることが大事 ●●

高齢化社会を迎え、複数の疾患を抱える方が増えていきます。医療が専門分化したために様々な病院や介護施設を利用され、地域との連携なしでは患者さんのケアは難しい時代となりました。

私が院長に就任した時から積極的に取り組んできたことのひとつが地域医療連携を深めることです。そのためには顔の見える関係をしっかりと作っていくこと、それに、信頼を得ることが大事だと思っています。

信頼を得るには、我々の医療を評価していただくかなければならないので大変な努力が必要です。難しいことですが、そこを意識しながら医療を提供するのは何よりも患者さんのためになりますし、結果的に地域の中で信頼されることに繋がるのではないかと思います。

昨年、あじさいネットに参加して情報提供病院となり、診療情報の公開を始めました。カルテを通して当院の医療内容を知っていただくことが、信頼を得るための近道になると

と考えていますので、地域の先生方より、多くの同意書が届くことをお待ちしております。また、地域の先生方との連携を深める取り組みとして講演会を開催しています。当院は基幹型臨床研修病院として初期研修医を受け入れ、教育のための学習講演会を企画しているのですが、これを「地域連携講演会」とし、地域の先生方にもお声掛けしてご参加いただいています。一緒に医療を学びながら交流を深める良い機会になっているのではないかと思います。

●● 病病連携への大きな期待 ●●

あじさいネットの回線を使用した、長崎大学病院の放射線科による遠隔画像診断システムを利用させていただいています。診断医と顔の見える関係であり、信頼できる先生方だと分かっていますので、より安心してレポートを受け取っています。

今後予定されているあじさいネットの病病連携が開始されれば、更に情報を活用して患者さんに応じた医療提供ができると考え、大変期待しています。

当院では外科及び整形外科の全身麻酔手術を行っていないため、他の病院に紹介しています。病病連携を使用して患者さんの紹介後の情報を確認できれば、手術後、逆紹介いただいた後の継続治療の上で非常に有効です。また、リハビリが必要な患者さんを紹介していただいておりますが、高齢の方が多いため、内科疾患のフォローが必要な場合が多くあります。この場合も内科疾患の状態を把握できることは、安心してリハビリを行う上でも重

要です。このようにネットワークを活用する効果は大きく、地域医療連携を円滑に進めるためにもあじさいネットの益々の発展を望んでいます。

◆ 地域連携室のスタッフより

診療所の先生方へ

・あじさいネットの同意書の登録は、平日のみ行っております。土曜日に送られた分につきましては、週明けに対応させていただきますので、その点、ご了承願います。

・患者登録の際、データの量が多いとその分時間がかかりますのでご理解の程よろしくお願い致します。



三島院長と地域連携室の皆様

左から： 増永伸彦様（電子カルテシステム担当）
三島院長、 佐藤泰智様（社会福祉士）

第6回あじさいネット研究会 地域医療ICTネットワークシンポジウム in 長崎

～広域地域医療連携ネットワークの価値と課題～

今年で11年目を迎えるあじさいネットの研究会を、5月9日(土)に長崎県医師会館にて開催致しました。医療従事者・企業関係者等、全国より278名の皆様にご参加いただき、盛会のうちに終了することができました。

今回の研究会は「地域医療ICTネットワークシンポジウム」と題し、医師・薬剤師の発表や討論が行われ、活気溢れる有意義な意見交換の場となりました。また、あじさいネット会員の皆様には「あじさいネットテレビ会議システム」を使用し、自院のあじさいネット端末にてライブ中継をご視聴いただくことができました。今後、様々なイベントや講演会等の配信を予定しております。その都度お知らせ致しますので是非ご利用下さい。

第一部 研究発表

きらら薬局(大村市)の河村綾子先生は、あじさいネットは地域包括ケアでの情報共有に不可欠であり、薬物療法の安全性を高め、患者と薬剤師が抱える問題解決に繋がる大切なツールであると発表されました。

在宅医療において、医療介護に関わるチームであじさいネットを利用されている奥平外科医院(長崎市)の奥平定之先生は、各職種が知っておくべき情報を一元化して管理し、セキュリティが高い状態で共有できるため非常に有用であると報告されました。



大村で運用している糖尿病疾病管理システムの経験から、長崎川棚医療センター(東彼杵郡)の木村博典先生は、増加を続ける糖尿病に対し、ICT技術を応用することで合併症重症化の予防が可能と説明されました。

最後に、みやしたリウマチ・内科クリニック(大村市)の宮下賜一郎先生は、ICTネットワークを活用することにより、安全で効率的な病診連携が可能になる例として、厳格な管理が必要なリウマチ医療におけるあじさいネットの有効活用について報告されました。

第二部 シンポジウム・総合討論

全県下に広がる地域医療ICTネットワークを展開している岡山の「晴れやかネット」、島根の「まめネット」、山形の「ちょうかいネット」、そして、長崎の「あじさいネット」の代表者にそれぞれの取り組みについて、現状や課題、今後の展開についてご講演いただきました。より質の高い医療を提供できるよう、更なる医療情報の共有・連携をどう推進していくか検討すべき点をご提示いただき、ICTを活用したネットワークの発展へ向けてのお考えを伺いました。

4名様の講演の後は総合討論へと続き、NBCアナウンサー 斉藤絹子様のお司会進行により、広域地域医療連携ネットワークの価値と課題について議論が交わされました。メリットや地域を広げる上での苦労話、工夫した点、セキュリティに関する問題等、各地での取り組みの中での経験を基にした貴重なご意見を聞くことができました。



メイン会場



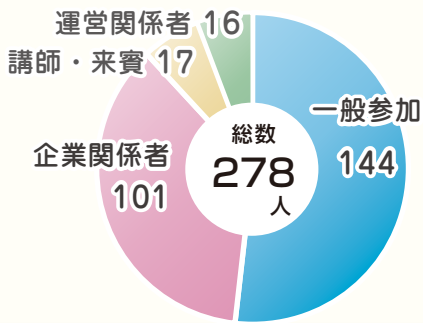
研究発表の様子



第二会場(TV会議システムでLIVE中継)

第6回あじさいネット研究会 ご来場者アンケート集計結果

ご来場者内訳

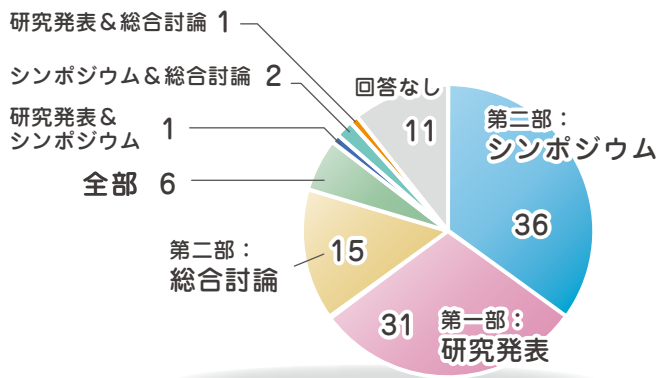


ご来場者数 …………… 278人
有効回答数 …………… 103

ご参加いただき
ありがとうございました!!

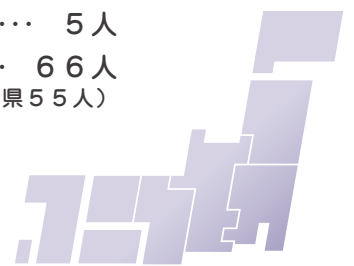


一番興味を持たれた内容は？



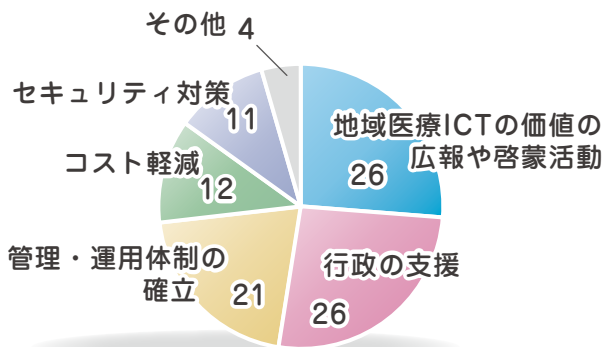
お住まいはどちらですか？

北海道 …………… 2人
東北 …………… 4人
関東 …………… 18人
中部 …………… 6人
近畿 …………… 2人
中国 …………… 5人
九州 …………… 66人
(うち長崎県55人)



地域医療ICT連携を拡大させるには 何を強化すべきと思いますか？

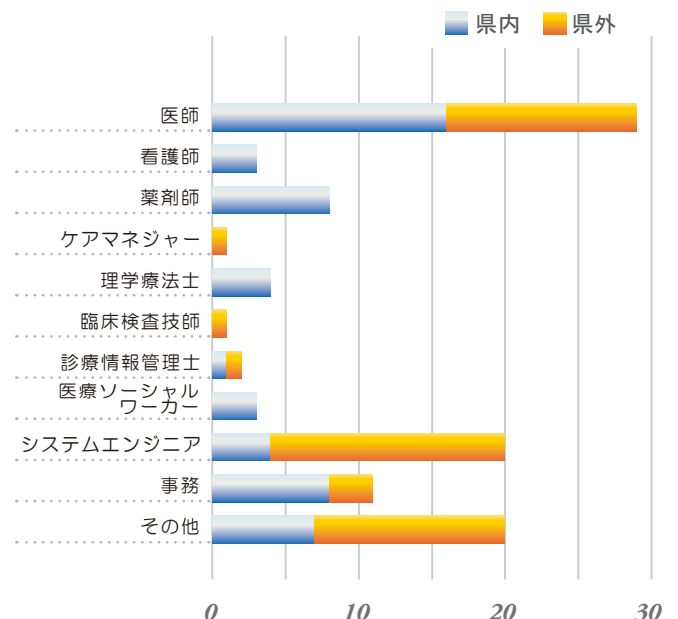
(複数回答)



その他のご意見

- 使い方の簡素化、スピード
- 費用負担の軽減
- 広域化＝P H R (個人健康記録) 化
- 情報開示の拡大
- 教育、コミュニケーションの場
- 使用方法の研修
- 診療報酬点数の算定などのインセンティブ
- システム利用の効果を可視化することの広報

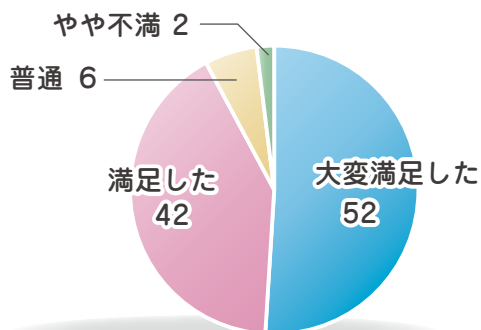
あなたの職種は何ですか？



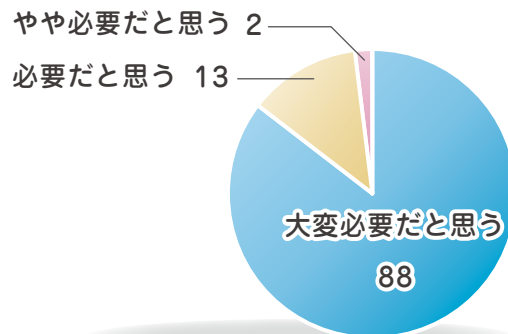
第6回あじさいネット研究会 ご来場者アンケート集計結果



本研究会は満足できる内容でしたか？



地域医療ICT連携ネットワークは必要だと思いますか？



地域医療ICT連携ネットワークについて詳しく知りたいのはどんな事ですか？

- 診療所側のメリット・デメリット
- 現場の医師、薬剤師の方のニーズと課題
- 利用頻度の低い参照施設の「利用しない理由」
- セキュリティ、病病連携、双方向共有
- 介護での連携情報共有
- ID-Link、HumanBridge と在宅ネットワークの効率的な結び付け
- 疾病管理システム
- 医療改変にともなう行政機関との連携について
- 導入による効果を示すデータ（経済面等）
- コスト内訳
- 継続的に運用するための収益構造
- 新機能、開発中のシステム



医療におけるICTを利用した取り組みで懸念される事は？

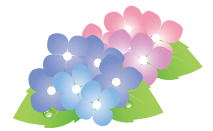
- セキュリティ対策、個人情報の流失
- 個人情報を扱う側の倫理観が担保できる教育体制が作れるか
- 形を先行させ、有用でない仕組みを作り上げてしまうこと
- 電子カルテなど、アプリケーションが共有できない点（メーカーで仕様が違う）
- コンピューターに不慣れな人にも使えるシステムかどうか
- 経済性、行政との連携、資金協力
- 患者様に対するコストパフォーマンス
- 維持のための費用
- 医療者・介護者の業務量が増えること
- 施設・ドクターごとで入力の手間が異なること
- 参加する医師、職種をいかに増やすか



医療におけるICTを利用した取り組みに今後期待する事は？

- 質の高い、患者さん中心の地域完結型医療の実現
- 「県」という枠を超えた連携
- ネットワークの統一、あじさいネットを電子カルテとした運用
- 離島と中核病院の連携
- 在宅医療、へき地医療、介護支援
- 地域包括ケアでの活用
- 診地域医療格差の軽減、医療資源の共有
- 診療所・調剤薬局からの情報提供
- 効果の数値化、見える化
- 症例データベース、ビッグデータ
- クラウド化
- マイナンバーやNDBを活用した理学療法士へのフィードバック
- 診療報酬への組み込み、点数化
- 医師の生涯教育の充実
- EMS（救急患者対応）機能の追加、救命率の上昇
- 収集したデータを分析・解析することによる二次利用

賛助会員 あじさいネットは会員様をはじめ、様々な方々のご協力により運営されています。



HOGY®

一歩先の手術室環境づくりをお手伝いします。

ホギメディカルでは、不織布・キット製品など感染対策製品および理想的な病院経営を総合的にサポートする手術管理システムをご提供しております。

国内最大級の生産・滅菌システムと全国25箇所の営業所ネットワークによって安定的な製品提供ならびにお客様サポートで「安心」をお届けしております。

株式会社 **ホギメディカル**

本社：東京都港区赤坂2-7-7 TEL:03-6229-1300 FAX:03-6229-1344

Empowered by Innovation **NEC**



見つめているのは、 人びとの暮らしです。

人びとが安全・安心で豊かに暮らせる社会のために、
私たちは先進的なICTで貢献します。

お問い合わせは、NEC(医療ソリューション事業部)へ
〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1(NEC本社ビル) TEL:03-3798-6756

<http://jpn.nec.com/>

THE KAITEKI COMPANY 三菱ケミカルホールディングスグループ

2014年4月1日、弊社(旧三菱化学メディエンス株式会社)は社名を変更しました。



株式会社LSIメディエンス

ヘルスケアの未来を変えていく。

健康で安心な社会を創造していくというビジョンのもと、より多くの人々に KAITEKI を届けてまいります。

LSIメディエンスは、三菱ケミカルホールディングスグループの新たな事業会社として2014年4月1日に発足した株式会社生命科学インスティテュート(Life Science Institute, Inc.: LSI)のグループ企業となりました。



株式会社LSIメディエンス

〒101-8517
東京都千代田区内神田一丁目13番4号
THE KAITEKI ビル

- 臨床検査(生化学的検査・血液学的検査・免疫学的検査・微生物学的検査・遺伝子関連検査・病理学的検査・その他検査)
- 健康診断支援サービス ● 産前産後サービス ● 体外診断用医薬品・体外診断用機器・試薬等の開発・製造・販売および輸出入
- 医薬品開発支援サービス(医薬品探索支援・非臨床試験・臨床試験) ● ヒト細胞による薬効・毒性評価 ● 遺伝子・タンパク解析
- 医薬品・農薬・化学品・食品添加物・化粧品等における安全性評価・環境リスク評価サービス
- 食の安全サポート ● ドーピング検査



「つなぐ医療」から、
「支える医療」へ。



shaping tomorrow with you
社会とお客様の豊かな未来のために

富士通は、
医療の未来をカタチにしていきます。

地域医療ネットワークの整備が進むなか、富士通は、地域と住民を「支える医療」にいち早く着手。災害時の事業継続、ビッグデータによる個別化医療、創業の加速化をサポートします。

HumanBridge EHRソリューション

製品・サービスについてのお問い合わせは
富士通コンタクトライン (総合窓口) 0120-933-200
(受付時間 9:00~17:30 土・日・祝日・年末年始を除く)

<http://jp.fujitsu.com/solutions/medical/products/humanbridge/>



安心と安全を届けます

NTT DATA
Global IT Innovator



長崎県下の
お客様から
情報技術分野で
必要とされる会社へ。

 **オフィスメーション株式会社**

長崎市金屋町 2-6 電腦BLD.
095-822-7201
<http://www.nagasaki-om.co.jp>

iPad でのあじさいネット利用を開始します

8月
開始予定

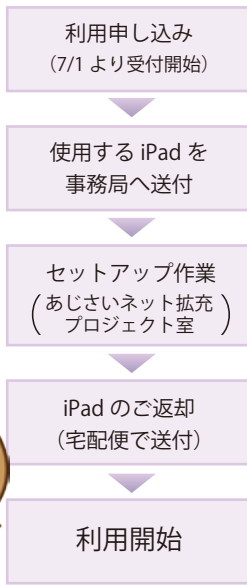
在宅医療における患者様宅での情報共有および周産期医療支援システムにて先行運用しておりました【iPadでのあじさいネット利用】を、8月（予定）より一般会員の皆様もご利用いただけるようになります。

※ 施設にVPN 機器（OnDemandアダプター）を設置済みの会員様のみとなります。iPadのみではご利用できません。ご了承下さい。

利用料金：月額利用料 700 円
(1 台あたり：税別)

※ 通常にあじさいネット会費とは別に利用料がかかります。

7月1日より受付開始です。詳しくはホームページをご覧ください。あじさいネット事務局までお問い合わせ下さい。



「第6回あじさいネット研究会」まもなく動画配信

あじさいネットでは、医療教育に役立つ動画コンテンツをご利用端末でいつでも視聴できる「動画配信サービス」の準備を進めており、その試験運用をまもなく開始いたします。

第1弾として、今年5月に行われた「第6回あじさいネット研究会」の録画映像を含めた数本のコンテンツを配信する予定です。サービス開始時には会員の皆様にあらかじめお知らせいたしますので、今しばらくお待ち下さい。



あじさいネット入会等に関するお問い合わせ先

あじさいネット事務局（長崎県医師会事務局内）
電話 095-844-1111 FAX: 095-844-1110



◆ 漫画制作：たくま医院 院長 詫摩和彦先生
(長崎市医師会所属/長崎在宅 Dr. ネット理事)

編集後記

今年5月9日に開催した第6回あじさいネット研究会では過去最多の278名の参加がみられました。この研究会は長崎新聞の取材を受け、長崎在宅 Dr. ネットとともに5月12日付の社説に取り上げられ、長崎の全国に誇るシステムなのでもっと広げようと掲載されました。医療を取り巻く環境は大きく様変わりし、医療の中心は病院から地域へと移行しようとしています。その結果、どのような診療分野においても地域医療が重視され、地域包括ケアの推進は医療行為よりも生活支援を重視されつつある昨今、効率的で質の高い連携のためにはICTネットワークが必要だという論調になってまいりました。そこでは、あじさいネットは常に全国の先頭に立っています。大きな期待が向けられていますが、10月にはマイナンバーが始まろうとする中、日本年金機構の情報漏洩事故が発生し「あじさいネットは大丈夫なのか」との問い合わせもいただいております。あじさいネットは数あるICTネットワークの中でも最もセキュリティが高く、年金機構同様の事故は発生しない仕組みですが、印刷禁止、コピー禁止のセキュリティルールが厳しすぎるというご意見もあります。しかしながら11年事故なく運営できたのは11年間同じ厳しいセキュリティルールで運用してきたからです。

なにとぞ、これからも個人情報保護の強い意識とセキュリティルール遵守を肝に銘じ、あじさいネットを更に発展させていきましょう。

*ご感想は、あじさいネット事務局「aj-na@nagasaki.med.or.jp」までお願いいたします。

あじさいネット OFF LINE 通信 編集長 松本 武浩